



宮ヶ瀬湖から

風のたより

NPO宮ヶ瀬湖ボートクラブ

「風のたより」第4巻第1号

2010年4月1日

NPO宮ヶ瀬湖ボートクラブの定期総会が平成22年3月7日鶴見川漕艇場会議室で行われ、提案議案の通り、平成21年度(第7期)事業報告および決算報告、および平成22年度(第8期)事業計画および予算計画が承認されました。

役員改選時期にあたり、山下長兵衛会長がご勇退され、新会長に鶴野省三氏が理事の互選により選任されました。「風のたより」本号では役員改選ほか、今年度の活動予定などをご案内します。

新会長を仰せつかって 鶴野省三

山下長兵衛会長が平成22年3月末を以てご勇退され、思いもかけず会長を仰せつかることになりました。

思い起こせば、宮ヶ瀬湖ボートクラブを立ち上げるとき、設立メンバーが考えたことは、宮ヶ瀬湖でボートを漕ぐことだけを目的にするだけではなく、地域に役に立ち、歓迎されるクラブであらねばならない、と言うものでした。

しかし、この考えはどのようにすれば実現できるか。それが大きな問題でしたが、地域との架け橋をお願いし、かつご指導・ご支援・ご相談を頂ける方を会長としてお迎えすることしかないと結論に至り、当時宮ヶ瀬ダム周辺振興財団理事長を退任されたばかりの山口榮三様に会長をお願いに参りました。それは平成14年夏でした。

山口会長には、創設当初のクラブ立ち上げの困難な時期に大変なご尽力を頂きましたが、ご健康を害され、山下長兵衛様に第二代会長を引き継がれました。

初代山口・第二代山下両会長は共に神奈川県副知事を務められた方で、宮ヶ瀬ダム建設にも深く関わられ、宮ヶ瀬のみならず県全体の視点から、クラブの活動を導いて下さいました。そのお陰で、本ボートクラブは、地域に根をはり、枝は地域を越え神奈川全体、さらに県外へと伸びるボートクラブに成長してきました。

この度、山下会長の後を引き継がせて頂くに当たり、私は両会長が築かれた道を、会員の方々と共に伸ばし広げて行くつもりであります。

ご勇退された山下前会長へ記念品贈呈

当NPOの会長をこのたびご勇退された山下前会長のご功績、ご努力に対して、NPOとしてお礼と感謝の気持ちをこめて記念品を贈呈しました。宮ヶ瀬湖BCのイメージカラー赤紫に塗ったマコン型スカルオールブレードです。

ブレードに記した文字が映えます。



2010年度の主な行事(カレンダー)

4月11日(日)	横浜市民ボートレース
4月24日(土)	観桜遊漕会
5月15日(土) - 16日(日)	全日本マスターズ
5月30日(日)	横浜ドラゴンボートレース
6月5日(土) - 6日(日)	合宿(奥只見湖)
7月19日(月・祝日)	水上運動会
7月25日(日)	横浜市民ボートレース
10月27日(日)	横浜市民ボートレース
11月21日(日)	紅葉レガッタ
12月5日(日)	横浜ボートマラソン

宮ヶ瀬湖BC保有艇、他団体保有艇

宮ヶ瀬湖にはどんな艇があるのか、会員の皆様もはっきりとご存じないかもしれませんので、ここで確認しておきましょう。

艇には当NPOが保有しているものと、他団体が保有しているが当NPOが利用させて頂くことが可能な艇の2種類があります。

当NPOの保有艇

8+	3
4X+	1
4X-	1
KF	3
1X	1

愛川高校保有艇

4X+	3
KF	1
2X	3

東海大学保有艇

8+	1
4-	1

◆ 2010年度の主な事業計画

行事予定を前ページに掲載しましたが、それ以外の主な事業計画をご説明します。

- 漕ぐ会及びふれあいボート教室の充実
初心者指導を狙いとした指導要員の育成を図ります。
ボートの普及の底辺を広げるために、小中学生を対象としたボート教室の開催を推進します。
- 紅葉レガッタ
準備から会場撤去に至るまでの大会運営にかかわる手順を体系化し、文書化してスムーズな大会運営を行います。
- 審判員を養成してできる限り自前で大会が開催できるようにつとめます。
- 合宿誘致
宮ヶ瀬湖の自然の中で出来るだけ多くのクルーに漕艇を満喫していただくために、当地で合宿を想定した受け入れ体制の整備を進めます。
- その他
艇・オール保管の整備、安全対策及び環境保全活動において更なる対応を推し進めます。

Did you know?

ダム水位は冬季に上昇し、梅雨の時期から夏にかけて下がります。高水位と低水位の差、なんと20m！水位が下がると船台に至る斜面での運搬も一苦勞ですが、思わぬところに土の表面が顔を見せたり、枯木の枝が出現したりします。コックスの方、および舵手なし艇は安全に注意して、湖面中央より「右側通行」して下さい。

◆ NPO役員改選について

- 理事
(再任)
飯塚憲治 岩崎隆久 大島勇次郎 折井正博
岸田光祐 栗原啓子 佐藤貞夫 佐野幸子
柴原和紀 鈴木信太郎 鈴木政徳 立花栄治
鶴野省三 坪井教一 豊田収二 鍋島久夫
橋本俊之輔 原田雄丞 氷見昌樹 水木初彦
三原邦夫 宮川重 村上寛治 矢島寛三
山浦博 山口輝雄 弓場常正
- (新任)
河口道晴 高原茂雄 高山修
- (退任)
山下長兵衛 磯富昭
- 監事(再任)
秋葉武志 大久保敏治
- 事務局長
定款第20条の規定に基づき、立花栄治氏が事務局長に任命されました。
- 運営委員
(再任)
飯塚憲治 大島勇次郎 栗原啓子 佐野幸子
鈴木信太郎 立花栄治 鶴野省三 豊田収二
鍋島久夫 橋本俊之輔 原田雄丞 氷見昌樹
三原邦夫 村上寛治 矢島寛三 山口輝雄
弓場常正
- 池田照樹 河口道晴 高原茂雄 高山修
長谷川訓好

◆ 昨2009年度の第7回紅葉レガッタ大盛況

宮ヶ瀬湖ボートクラブと神奈川県ボート協会の共同主催による大会が2009年11月22日(日)に開催されました。出場クルーが72クルーと前年の52クルーから大幅に増加しました。静岡、山梨と県外からの参加も定着した観があります。大会の様子は日本ボート協会のローイング・ジャーナル誌に掲載されました。

大会は悪天候のため1本目のレースを終えたところで打ち切りざるを得ませんでした。表彰は昨年からの年齢ハンデキャップによる優勝クルーの他、各種目のベストタイムクルーに授与することに変更されました。その結果、男子エイトでは団

塊号「玄武」が優勝でしたが、山梨大学がベストタイムを叩き出して表彰されました。また、遠来の沼津工業高校クルーが男女ともダブルスカルで優勝という見事な結果を残しました。

今大会から協力大学は北里、東海、防衛、共立女子大学に加え、新たに神奈川工科大学が参加し、5大学となりました。大会前夜にはこうした協力大学からの大会補助員の学生間および大会役員と学生の交流も活発に行われ、今後の発展につながる事が期待されます。

1月に相模湖からマコンオール14本を無償で譲り受けました。古いものですが、カーボンシャフトに木のハンドルがついています。オール全長は、194cm、196cm、198cmと3種類があります。グリップを購入して取り付け、ブレードをクラブカラーのミツバツツジ色・赤紫に塗装する作業を行わなければなりません。皆様のご協力をよろしくお願いします。

2009年 宮ヶ瀬湖 BC 一筆会の想いで



1月、雪化粧の初漕ぎ



2月、町田一江ノ島ウォーク



4月、観桜遊漕会



6月ドラゴンボート



6月、マスターズ出場



7月、荻野合宿

一艇ありて夢ひとつ



宮ヶ瀬湖BC
クラブカラーを設定



11月、湘南国際マラソン



11月紅葉レガッタ 72クルーの出場！！



12月ボートマラソン
クオオド記録更新33分51



12月19日
年末大掃除と豚汁会

そして2010年のスタート



2010年、初漕ぎに向かう2X



そして、8+



それから、お待ちかね新年会へ

会員の皆様、メールアドレスをお知らせください！！

事務局では、事務の効率化、連絡の迅速性、コスト節減のためにペーパーレス化を推進しています。会員の皆様には、今後、この「風のたより」の配布を含めて、可能なかぎりEメールによる連絡を主な連絡手段とします。

そのために会員の皆様のメールアドレスを整備する必要があります。

会員名簿管理を当NPOの三原邦夫理事が担当しています。

メールアドレスをお持ちの方は、件名あるいは本文にご自分のお名前だけを記して、あとはメッセージなしの空メールで結構ですから、三原理事の下記アドレス宛に発信してください。

miharak@a08.itscom.net

(@マークの次の読みは「エイゼロハチ」です。)
ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入のお願い！

老朽化する保有艇、オールの整備、日常使用において発生する故障修理に伴う費用が激増しています。紅葉レガッタなどで来湖する参加者に満足いただける環境を整備するために会費納入をお願い致します。

会費は、

個人会費 3,000円

賛助会費 10,000円

です。

お問合せは

立花栄治（宮ヶ瀬湖ボートクラブ事務局長）宛 電話：0462-88-2151 e-mail: ryoucha@fa3.so-net.ne.jp